



# 平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 2 月 4 日

上場会社名 株式会社トクヤマ

(コード番号：4043 東証、大証第 1 部)

(URL <http://www.tokuyama.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 中原 茂明

問合せ先責任者 広報グループリーダー 油谷 邦久 TEL：(03) 3499-8023

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用：有  
の  
の有無  
(内容)  
◎固定資産の減価償却の方法  
(1) 有形固定資産：年度見込額のうち当第 3 四半期分を計上しております。  
(2) 無形固定資産：年度見込額のうち当第 3 四半期分を計上しております。
- ② 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無  
(内容)  
◎セグメント情報における費用配賦方法の変更  
◎固定資産の減損に係る会計基準及び同適用指針の適用
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：有 連結子会社（新規）3 社（除外）1 社  
持分法適用関連会社（新規）1 社（除外）1 社

## 2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 12 月 31 日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	173,826	6.7	11,893	25.6	9,497	45.8	4,946	87.2
16 年 3 月期第 3 四半期	162,945	—	9,472	—	6,512	—	2,641	—
(参考)16 年 3 月期	219,393	△2.7	13,195	2.7	9,247	46.1	6,038	—

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 3 四半期	19.44	—	—	—
16 年 3 月期第 3 四半期	10.38	—	—	—
(参考)16 年 3 月期	23.52	—	—	—

(注) 前年度より四半期財務・業績の概況開示を行っているため、前年同四半期の増減率については記載していません。

### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の業績の概況は売上高、営業利益とも前年同四半期実績を上回りました。

なお下記のセグメント別概況は、前年同四半期実績を、当期より変更したセグメント別営業費用配賦方法により組替えた上で、対比しております。

#### <化学品>

苛性ソーダ、プロピレンオキシド、イソプロピルアルコール等は、景気回復による需要増により増収となりましたが、原燃料コスト上昇により利益は伸び悩みました。新第一塩ビ(株)は合理化努力の継続に加え日本を含むアジア市場の活況や価格は是正を受け好調に推移しました。サン・トックス(株)は価格是正が遅れ回復には至りませんでした。

以上の結果、当セグメントの外部顧客に対する売上高は 696 億 5 千万円（対前年同四半期比 5.3% 増）、営業利益は 52 億 6 千万円（対前年同四半期比 36.1% 増）となりました。

<特殊品>

多結晶シリコンは半導体向け、太陽電池向け共に好調に推移しました。乾式シリカは引き続き堅調に推移しましたが、湿式シリカは競争激化もあり低調に推移しました。半導体・液晶向け高純度薬品は原燃料等のコストが上昇し、また、窒化アルミニウム、ファインケミカルは新分野の開発遅れ等により伸び悩みました。

以上の結果、当セグメントの外部顧客に対する売上高は483億7千万円（対前年同四半期比10.6%増）、営業利益は59億7千万円（対前年同四半期比34.0%増）となりました。

<セメント建材その他>

セメントは全般的な需要減退の中、一部大都市圏など需要底打ちの兆しも見えてきましたが、価格は正が遅れ原燃料コスト上昇を補うまでに至りませんでした。資源環境事業は建設発生土等の処理が着実に進み順調に推移しました。(株)シャノンは引き続き関東以西での樹脂サッシ拡販に努めました。

以上の結果、当セグメントの外部顧客に対する売上高は557億9千万円（対前年同四半期比5.2%増）、営業利益は28億円（対前年同四半期比10.7%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円
17年3月期第3四半期	316,832	127,975	40.4	503.25
16年3月期第3四半期	311,822	118,456	38.0	465.50
(参考)16年3月期	308,816	124,451	40.3	488.90

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	21,458	△13,796	△10,007	20,049
16年3月期第3四半期	21,415	△13,093	△20,028	26,729
(参考)16年3月期	27,709	△16,281	△27,852	22,215

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は、以下のとおりです。

総資産は前連結会計年度末に比べ80億1千万円増加し、3,168億3千万円となりました。

増減の主なものは、資産では受取手形及び売掛金の増加74億3千万円、固定資産の減損に係る会計基準を適用したこと及び設備投資を減価償却費の範囲内に抑えたこと等による有形固定資産の減少21億1千万円です。

負債では、支払手形及び買掛金の増加72億円、有利子負債の減少76億7千万円です。

株主資本は、35億2千万円増加し、1,279億7千万円となりました。株主資本比率は0.1%上昇し、40.4%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

営業活動によって得られた資金は214億5千万円となりました。内訳の主なものは、税金等調整前当期純利益82億6千万円、減価償却費135億6千万円です。

投資活動によって使用した資金は137億9千万円となりました。内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出123億5千万円です。

財務活動によって使用した資金は100億円となりました。内訳の主なものは、有利子負債の圧縮による83億4千万円の支出、配当金の支払額15億2千万円であります。

(参考) 四半期個別業績概況 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	113,260	5.0	6,772	△1.8	5,453	19.2	4,759	103.7
16年3月期第3四半期	107,882	—	6,894	—	4,574	—	2,336	—
(参考)16年3月期	145,097	△4.2	9,510	△6.6	6,602	61.4	4,814	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	18.71	—	—	—
16年3月期第3四半期	9.18	—	—	—
(参考)16年3月期	18.74	—	—	—

### 3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日~平成 17 年 3 月 31 日)

平成 16 年 11 月 10 日の中間決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日~平成 17 年 3 月 31 日) の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
前回発表予想(A)	233,000		16,000		13,000		7,500	
今回修正予想(B)	235,000		17,500		14,500		8,500	
増減額(B)-(A)	2,000		1,500		1,500		1,000	
増減率(%)	0.9		9.4		11.5		13.3	
前期(平成 16 年 3 月期)実績	219,393		13,195		9,247		6,038	

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 33円43銭

(参考)平成 17 年 3 月期個別業績予想数値の修正

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
前回発表予想(A)	152,000		9,300		8,100		6,800	
今回修正予想(B)	154,000		10,000		8,500		7,500	
増減額(B)-(A)	2,000		700		400		700	
増減率(%)	1.3		7.5		4.9		10.3	
前期(平成 16 年 3 月期)実績	145,097		9,510		6,602		4,814	

[業績予想に関する定性的情報等]

原燃料価格の急激な高騰により製造コストが上昇する見込みですが、一方では出荷増による生産性の改善や固定費削減などの合理化効果に加え、化学品や特殊品における価格是正の進捗もあり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を若干上回る見込みです。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 四半期連結（要約）損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔自 16. 4. 1 至 16. 12. 31〕	前第3四半期 〔自 15. 4. 1 至 15. 12. 31〕	増 減	(参考)前期 〔自 15. 4. 1 至 16. 3. 31〕
	金 額	金 額	金 額	金 額
I 売上高	173,826	162,945	10,881	219,393
II 売上原価	123,213	115,230	7,983	154,744
売上総利益	50,612	47,714	2,898	64,648
III 販売費及び一般管理費	38,719	38,242	477	51,453
営業利益	11,893	9,472	2,420	13,195
IV 営業外収益	2,419	1,661	758	2,492
1. 受取利息及び配当金	319	253	66	322
2. 雑収入	2,100	1,407	692	2,169
V 営業外費用	4,815	4,621	194	6,440
1. 支払利息	1,483	1,873	△ 389	2,441
2. 雑支出	3,332	2,747	584	3,998
経常利益	9,497	6,512	2,984	9,247
VI 特別利益	812	370	442	2,473
VII 特別損失	2,049	962	1,086	1,417
税金等調整前四半期 （当期）純利益	8,260	5,920	2,340	10,303
法人税等	2,512	3,204	△ 692	4,114
少数株主利益（減算）	△ 802	△ 73	△ 728	△ 150
四半期（当期）純利益	4,946	2,641	2,304	6,038

## 四半期連結（要約）貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (16.12.31)	前第3四半期 (15.12.31)	増 減	(参考)前 期 (16. 3.31)
	金 額	金 額	金 額	金 額
資産の部				
I 流動資産	120,065	119,059	1,006	110,986
1. 現金及び預金	19,830	26,470	△ 6,640	21,936
2. 受取手形及び売掛金	65,793	59,940	5,853	58,363
3. たな卸資産	22,901	22,530	370	22,501
4. その他	11,540	10,117	1,423	8,185
II 固定資産	196,767	192,763	4,003	197,829
1. 有形固定資産	142,817	146,065	△ 3,247	144,933
(1) 建物及び構築物	39,169	39,679	△ 509	39,272
(2) 機械装置及び運搬具	66,697	68,309	△ 1,612	69,227
(3) 土地	28,317	28,621	△ 303	28,957
(4) その他	8,632	9,453	△ 821	7,475
2. 無形固定資産	1,759	2,101	△ 341	2,236
3. 投資その他の資産	52,189	44,596	7,593	50,659
(1) 投資有価証券	41,290	35,458	5,831	40,638
(2) その他	10,899	9,138	1,761	10,020
資産合計	316,832	311,822	5,010	308,816
負債の部				
I 流動負債	94,498	104,786	△ 10,288	95,455
1. 支払手形及び買掛金	38,244	32,205	6,039	31,036
2. 短期借入金	15,665	29,316	△ 13,651	25,921
3. その他	40,588	43,264	△ 2,676	38,498
II 固定負債	91,025	86,761	4,263	86,790
1. 社債	34,800	29,800	5,000	29,800
2. 長期借入金	37,474	38,569	△ 1,095	39,093
3. その他	18,751	18,392	358	17,896
負債合計	185,524	191,548	△ 6,024	182,246
少数株主持分	3,332	1,817	1,515	2,118
資本の部				
I 資本金	19,273	19,273	—	19,273
II 資本剰余金	23,496	23,495	0	23,495
III 利益剰余金	73,450	67,790	5,659	71,184
IV その他有価証券評価差額金	13,166	9,317	3,849	12,066
V 為替換算調整勘定	△ 1,149	△ 1,249	99	△ 1,387
VI 自己株式	△ 262	△ 171	△ 90	△ 181
資本合計	127,975	118,456	9,519	124,451
負債、少数株主持分及び資本合計	316,832	311,822	5,010	308,816

## 四半期連結（要約）キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔自 16. 4. 1〕 至 16. 12. 31〕	前第3四半期 〔自 15. 4. 1〕 至 15. 12. 31〕	(参考)前 期 〔自 15. 4. 1〕 至 16. 3. 31〕
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,260	5,920	10,303
減価償却費	13,567	13,886	18,874
売上債権の増減額	△ 7,329	768	2,318
その他	6,959	840	△ 3,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,458	21,415	27,709
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 12,358	△ 11,683	△ 14,801
貸付による支出	△ 2,894	△ 2,387	△ 2,401
その他	1,456	977	922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,796	△ 13,093	△ 16,281
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,007	△ 20,028	△ 27,852
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	71	△ 6	△ 16
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 2,274	△ 11,713	△ 16,440
VI 現金及び現金同等物の期首残高	22,215	38,440	38,440
VII 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	108	3	214
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	20,049	26,729	22,215

## セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自 16. 4. 1 至 16.12.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	69,658	48,375	55,792	173,826	—	173,826
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,112	100	5,021	6,234	(6,234)	—
計	70,771	48,475	60,813	180,060	(6,234)	173,826
営業費用	65,501	42,498	58,008	166,008	(4,075)	161,932
営業利益	5,269	5,977	2,805	14,052	(2,158)	11,893

前第3四半期(自 15. 4. 1 至 15.12.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	66,148	43,736	53,059	162,945	—	162,945
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,160	125	4,494	5,780	(5,780)	—
計	67,309	43,862	57,553	168,725	(5,780)	162,945
営業費用	63,678	40,015	54,679	158,372	(4,900)	153,472
営業利益	3,631	3,846	2,873	10,352	(879)	9,472

(参考)前期(自 15. 4. 1 至 16. 3.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	88,927	59,642	70,824	219,393	—	219,393
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,529	169	6,115	7,815	(7,815)	—
計	90,456	59,812	76,939	227,208	(7,815)	219,393
営業費用	85,243	54,273	73,278	212,795	(6,596)	206,198
営業利益	5,213	5,538	3,661	14,413	(1,218)	13,195

#### (営業費用配賦方法の変更)

従来、営業費用のうち、基礎研究開発費については各セグメントの営業費用として各セグメントに配賦し、当社の総務部門・財務部門等の費用については配賦不能費用として消去又は全社に含めておりました。

これを当期より、基礎研究開発費については消去又は全社に含め、当社の総務部門・財務部門等の費用についてはセグメント別に配賦する方法に変更しております。

この変更は、社内において作成している経営管理用の部門別損益と外部公表用のセグメント損益を一致させることによって、損益不一致による説明の混乱をさけアカウンタビリティーを適切に果たすために変更したものです。

この結果、従来の方法に比較して当第3四半期の各セグメントの営業費用は、化学品事業が46百万円減少、特殊品事業が1,006百万円減少、セメント建材その他事業は237百万円減少、営業利益はそれぞれ同額増加しております。

なお、前第3四半期および前期のセグメント情報を、当第3四半期における費用配賦方法により表示すると次のようになります。

前第3四半期(自 15. 4. 1 至 15.12.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	66,148	43,736	53,059	162,945	—	162,945
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,160	125	4,494	5,780	(5,780)	—
計	67,309	43,862	57,553	168,725	(5,780)	162,945
営業費用	63,436	39,399	54,412	157,249	(3,776)	153,472
営業利益	3,872	4,462	3,141	11,476	(2,003)	9,472

(参考)前期(自 15. 4. 1 至 16. 3.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	88,927	59,642	70,824	219,393	—	219,393
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,529	169	6,115	7,815	(7,815)	—
計	90,456	59,812	76,939	227,208	(7,815)	219,393
営業費用	84,914	53,447	72,934	211,297	(5,098)	206,198
営業利益	5,541	6,364	4,005	15,911	(2,716)	13,195

## 2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているためその記載を省略しております。

## 3. 海外売上高

当第3四半期(自 16. 4. 1 至 16.12.31)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I 海外売上高	18,825	7,482	26,308
II 連結売上高			173,826
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.8	4.3	15.1

前第3四半期(自 15. 4. 1 至 15.12.31)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I 海外売上高	17,634	6,745	24,379
II 連結売上高			162,945
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.8	4.1	15.0

(参考)前期(自 15. 4. 1 至 16. 3.31)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I 海外売上高	22,494	9,560	32,055
II 連結売上高			219,393
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.3	4.4	14.6

(注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア…中国、韓国、台湾

(2) その他…欧州、北米